

# 高齢者の方と、いっしょに うたおう おどろう

教育課程上の位置付 総合的な学習の時間

## 実施概要

施設との交流は、今回の活動が初めてです。活動は、施設3階ずらん棟の食堂で行いました。初めの歌「しあわせなら手をたたこう」では、参加者全員が手や肩などをたたき、次の曲「ビリーブ」でも全員で手話を交えて歌いました。次の曲「タッタ」では、全員にマラカスや鈴を配り一緒に演奏しました。そこで、利用者から「もみじ」の歌のプレゼントがあり、最後は生徒が利用者手作り記念品を渡して活動を終了しました。

- 活動参加者内訳** 当校 生徒…27人 担当教員…12人  
交流先 利用者…45人 担当職員…7人
- 交通手段** 当校とシルバーピア加賀との距離はおよそ400m  
徒歩で訪問 約5分



全員が楽器を鳴らして、気分は最高潮に

## 活動報告 実施日：11月7日(火)

始めに、拡大した学校の写真を複数の生徒が両手で掲げて利用者に見せる中、生徒代表が挨拶をすると拍手が起こりました。初めの歌「しあわせなら手をたたこう」では、教員のリードで生徒が歌に合わせて手や肩などをたたき、利用者も一緒に同じ動作をして、段々とお互い熱が入ってきました。

次の曲「ビリーブ」では、大きく歌詞を書いた横長の模造紙を生徒が持って利用者に見せ、その歌詞を教員と生徒が手話にして利用者に伝えた後、全員手話をつけて歌いました。歌い終わると、利用者からアンコールの声が上がり、生徒は喜んで、もう一度一緒に手話をつけて歌いました。

最後の曲「タッタ」では、生徒は自分たちで作ったマラカスを持参して、曲に合わせてダンスを踊りました。利用者にも全員にマラカスや鈴を配り、生徒のダンスに合わせて一緒にマラカスや鈴を鳴らして演奏すると、会場は最高潮になりました。

その後、利用者からサプライズの「もみじ」の歌のプレゼントをもらいました。最後には、生徒が利用者手作りメッセージカードとおりをプレゼントして、活動を終了しました。

### 当日のスケジュール

- 13:30** 学校、施設、SSC、都教委4者事前打合せ  
(活動30分前) (1階職員休憩室)  
生徒、学校出発
- 13:50** シルバーピア加賀での準備
- 14:00** 活動開始  
①挨拶 ②学校の紹介 ③プログラム発表  
④生徒の歌 「しあわせなら手をたたこう」「ビリーブ」  
⑤生徒のダンスと楽器遊び 「タッタ」(アンコールあり)  
※利用者から「もみじ」の歌のプレゼントあり
- 14:30** ⑥挨拶 活動終了
- 15:00** 学校へ移動

### ■活動のために準備したもの

- 学校紹介のための写真
- ダンスで使用したマラカス
- 歌詞カード

### ■工夫したところ

- 誰もが知っている曲をプログラムに入れました。
- 楽器を手に持って一緒に体を動かせる活動を行いました。

### ■実施にあたって注意したところ

- 楽器の音量に配慮し、使いやすいものを持参しました。
- 初めての場や活動で混乱してしまう生徒がいるため、混乱した際の対応を教員間で話し合いました。
- 生徒の並び順を考え、利用者の方々との無理な接触がないようにしました。

### ■良かったと思うところ

- 生徒が落ち着いて活動でき、利用者の皆さんに喜んでもらえました。

### ■今後に向けての学校からの抱負

- 誰かの役に立っているという意識をもったり、活動にやりがいを感じたりすることができるよう、継続して取り組んでいきます。

当校は、小学部と中学部を設置する知的障害特別支援学校で、203名の児童・生徒が通っています。当校では、副籍制度における小学校や中学校との交流及び共同学習の他、近隣の小学校・中学校とも毎年交流しています。また、茶道教室を通じて地域の方との交流も行っています。社会貢献活動としては、毎年2回近隣の公園や道路の清掃活動を行っています。

## 活動の感想

### 生徒・教員の感想

- 生徒**
  - マラカスを使ったダンスで一緒に楽しむことができました。しおりをプレゼントした時に「ありがとう」と喜んでもらえてうれしかったです。
  - 訪問のお礼に利用者の方々が歌を歌って下さいました。発表は、握手をして喜んでいただき、うれしかったです。
  - 「しあわせなら手をたたこう」の歌では、皆さんが笑顔を見せてくださり、うれしかったです。また訪問したい気持ちになりました。
- 教員**
  - たくさんの高齢の利用者の方々がいる場に居合わせることが初めての生徒が多い中で、利用者の方々に「頑張って」「良かったよ」と優しく言葉を掛けていただき、終始和やかな雰囲気で行うことができました。マラカスを使ったダンスでは、生徒と利用者の皆さんと一緒に体を動かして楽しむことができました。歌やダンスが終わるごとにたくさんの拍手をもらい、生徒も喜びを感じたようです。生徒たちにとって、貴重な経験となりました。



学校の写真を見せて、学校を紹介しました



利用者さんに一生懸命歌声を届けました

### 施設の参加利用者・担当者の感想

- 利用者**
  - りっぱでした。私たちは大喜びです。元気をいただきました。ありがとうございました。若返りました。元気をたくさんいただきました。
  - 大変、良かったです。参考になりました。手話も楽しかったです。
  - 皆さん、御両親が大切に育てて来られたのだなと思いました。これからも頑張ってください。
- 施設長**
  - 当施設では、これまでに近隣の幼稚園、保育園、小学校などからの施設訪問を受け入れていましたが、今回初めて特別支援学校の皆さんに訪問していただきました。初めは少し緊張もあったようですが、次第に打ち解けて、歌を贈り合うなど、みんなで一緒に楽しいひと時を過ごすことができました。一生懸命に活動に取り組む生徒の皆さんの、真剣な眼差しや純真な笑顔に、施設のご利用者様にとっても、日頃感じられないようなとても良い刺激になりました。今回の機会を大切に、今後も交流を続けていければと思っています。ありがとうございました。

### ■実施までの経過 ※（コ）：コーディネーター

- 7月28日 (コ)、学校を訪問。校長、副校長と活動の打合せ。希望施設を確認。(コ)、学校訪問後、施設を訪問。事務長に協力依頼
- 8月4日 (コ)、施設を訪問。事務長、施設長に活動への協力依頼。施設長快諾
- 9月30日 (コ)、副校長と施設訪問。事務長、施設長、担当者で打合せ
- 9月15日 (コ)、副校長、中3学年主任、中3担当教員、施設訪問。介護課長と現地での打ち合わせ。会場の使い方、使う道具、電源など確認
- 10月3日 (コ)、学校を訪問。副校長の案内で授業を見学

### 交流先



公益財団法人 愛世会  
介護老人保健施設 **シルバーピア加賀**  
住 所：東京都板橋区加賀一丁目3番1号

- 施設概要 入所定員200名(認知症専門として50名)
- 短期入所療養介護(ショートステイ)
- 通所リハビリテーション(デイケア) 定員60名
- 居宅介護支援事業所
- 訪問看護ステーション
- 地域包括支援センター